



2026 年 7 月 31 日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社フジコウ様と 「サステナブル経営支援ローン」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取:津山 博恒)は、株式会社フジコウ様(北海道札幌市、代表取締役:藤崎 圭介様)に対し、「サステナブル経営支援ローン」(以下、本ローン)を実行しました。

本ローンは、北洋銀行が提供する SDGs コンサルティングや、お客さまとの対話を通じて設定された重要課題のうち、環境・社会・経済に好影響を与え得るもの、もしくは悪影響を抑制し得るものを「サステナビリティ目標」と定義し、その有意義性について第三者からセカンドオピニオン※を取得する融資商品です。

株式会社フジコウ様では、重要課題を「働きやすい建設業への進化」と特定し、女性を含む雇用の拡大に貢献することで、持続可能な社会の実現と自社の企業価値向上の両立を目指しています。

当行は、今後もほくようサステナブルファイナンス等を通じて環境・社会課題の解決を図るお客さまやプロジェクトを積極的に支援し、脱炭素社会の実現や SDGs の達成に貢献してまいります。

※株式会社北海道共創パートナーズによるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

記

【株式会社フジコウ様の概要】

所 在 地	北海道札幌市西区西野8条3丁目 9-18
代 表 者	藤崎 圭介 様
設 立	2017 年 6 月
業 種	建設業

【契約記念の様子】



左:株式会社フジコウ
代表取締役 藤崎 圭介 様

右:北洋銀行
西町支店長 藤田 菜穂子

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

株式会社フジコウ ほくようサステナブルローン サステナブル経営支援ローン

株式会社北海道共創パートナーズ
ソーシャルインパクト事業部

本セカンドオピニオンは、株式会社フジコウ（以下、「フジコウ」または「当社」という）が北洋銀行の融資商品「サステナブル経営支援ローン（以下、本ローン）」を利用するにあたり、株式会社北海道共創パートナーズ（以下、「HKP」）が第三者の立場から発行するものである。

本ローンは、お客さまの SDGs 経営とサステナビリティ目標に対し、第三者からの評価を取得し、融資実行後においても北洋銀行との継続的な対話等を通じ、企業の持続性の向上を支援する商品である。

1. 企業概要

(1) 基本情報

企 業 名	株式会社フジコウ	
代 表 者 名	藤崎 圭介	
営 業 拠 点	本社	北海道札幌市西区西野8条3丁目 9-18
	本店	札幌市西区福井 499-14
創 業 / 設 立	2017 年 6 月	
資 本 金	500 万円	
従 業 員	6 名（2026 年 5 月現在、役員含む）	
事 業 内 容	内装仕上工事	
沿 革	2010 年	内装仕上工事業として個人創業
	2017 年	資本金 500 万円で株式会社フジコウ設立 藤崎圭介氏が代表取締役就任 建設業許可取得（北海道知事許可 第 722842 号）
	2019 年	本店を札幌市西区福井 499-14 に設置

(2) 経営に対する考え方

フジコウは、パートナーシップの構築を重視した事業運営を行っている。当社は内装仕上工事を主たる業務としており、工事全体の設計に加え、予算および納期の管理、さらに施工を担う職人の手配・監督までを一貫して担っている。役割分担は、当社従業員が現場管理を実施し、実際の施工をする職人は協力会社への発注である。多くの職人が従事しており、その人数は案件によっては 30 名を超える場合もある。当社は、こうした職人を事業運営に欠かせない存在である「重要なパートナー」と位置づけ、常に「真面目」・「真摯」な対応を心がけている。

具体的には、職人の賃金水準の持続的な向上に取り組むこと、職人が十分な休息を確保できるよう無理のない工程を設定することなどを通じて、職人との持続的かつ良好な関係性の構築に努めている。

(3) 事業概要

フジコウは、北海道札幌市に拠点を置く内装仕上工事会社である。マンション・病院・ホテルといった新築建物の内装仕上げをメインに手掛けている。内装仕上工事とは、木造やコンクリートで造られた建物の骨組み(躯体)に、天井・壁・床などの内装を施工し、さらに畳やふすまの設置、防音工事などを行うことで、そこで暮らす人が安全かつ快適に過ごせる生活空間へと仕上げる工事を指す。当社従業員が現場管理を実施し、実際の作業は外注先の職人が実施するのが通常の業務フローとなっている。

① 軽天工事

軽量鉄骨(ライト・ゲージ・スチール:LGS)や石膏ボード(プラスターボード:PB)などを用いて、建物内部の天井や壁の下地を構成する内装工事を指す。かつては大工が木材などを使用して柱・壁・天井といった生活空間を造作していたが、軽量鉄骨を用いることで工場製作や現場加工がしやすくなり、工期の短縮やコスト削減が可能となった。さらに、害虫被害のリスクが低いことや、不燃材料であるため耐火性・延焼防止効果が高まるといったメリットもある。

■軽天工事風景 1



■軽天工事風景 2



■ボード工事風景 1



■ボード工事風景 2



【出典:フジコウ提供写真】

② 天井・壁の内装仕上

軽天工事で造られた天井・壁の下地に各種仕上材を施工し、最終的な天井・壁面を整える工事を指す。代表的な天井仕上材には、主な資材として石膏ボードや、プリント紙や木目の薄板などを貼り付けて意匠性を高めた化粧板などがあり、コスト・デザイン・部屋の用途に応じて最適な材料が選定される。壁の仕上材としては、リーズナブルで一般的なクロス仕上に加え、調湿性・防火性・防音性に優れる塗り壁、耐久性・耐水性に優れたタイル仕上など、さまざまな工法がある。当社は、これら多様な仕上方法に幅広く対応し、用途や要望に応じた最適な内装仕上を提供している。

■仕上げ工事風景 1



■仕上げ工事風景 2



■仕上げ工事風景 3



■仕上げ工事風景 4



【出典：フジコウ提供写真】

③ 間仕切り工事

パーティションを設置し、一つの空間を用途に応じて複数の部屋やゾーンに細分化する内装工事である。固定壁と比べてレイアウト変更や移転が容易であり、柔軟なスペース活用を可能にする点が特徴である。使用する材料には、耐火性に優れた軽量鉄骨、軽量でコストを抑えやすいアルミ、遮音性に優れたスチールなど、さまざまな種類がある。求められる防火性能やプライバシー性、デザイン性に応じて、これらの中から最適なタイプが選定される。

④ 防音工事

遮音材や吸音材を用いて、屋外の騒音が室内に伝わりにくくなるようにする内装工事を指す。具体的には、窓・壁・床・天井への防音施工に加え、二重ドア・防音ドアの設置や、音が侵入しにくい二穴式吸排気換気扇の採用など、複数の工法を組み合わせで行われる。また、これらの防音工事は、気密性や断熱性の向上にも寄与し、快適な室内環境の実現に役立つ。

2. サステナビリティ活動

(1) 社会面での活動

■ 賃金・福利厚生

フジコウは、従業員が働きがいを持てるよう、賃金および福利厚生の充実に取り組んでいる。賃金については近年の物価動向を踏まえつつ、担当者の現場の実施件数やステークホルダーとの関係構築などの成果に応じて昇給を行う体制としており、直近では成果に応じて一人あたり10～20%の昇給を実施するなど、積極的な賃金引き上げを進めている。また、役職員の将来的な資産形成や万が一の際の備えとして、民間保険を活用した積立制度を導入し、生活基盤の安定を支援している。さらに、本年度からは福利厚生施策としてプロ野球のシーズンシートを購入しており、従業員の余暇の充実に加え、協力会社や職人などステークホルダーをもてなす場としても活用している。

■ ワークライフバランス

フジコウは、従業員が働きやすい職場環境の実現を重視している。当社は完全週休二日制を採用し、ゴールデンウィーク、夏季(盆)、年末年始などの長期休暇を含め、年間120日以上の休暇を確保している。国土交通省「令和6年__適正な工期設定等による働き方改革の推進に関する調査結果」によれば、建設業(技術者)で4週8休を実現している企業は全体の28.6%にとどまり、4週6休程度が大半を占めている。建設業界全体で一層の働き方改革が求められる中、当社は先行して良好な労働環境の整備を進めている。

また、フレックスタイム制度や時短勤務制度を導入し、従業員本人の通院、家族の介護、子育てなどの事情に応じた柔軟な働き方を可能としている。

さらに、所定外労働時間は繁忙期においても月平均約10時間程度に抑えられており、繁忙期以外はほぼゼロの水準である。「厚生労働省毎月勤労統計調査(2025年分結果確報)」における建設業の平均値13.5時間と比較しても、低い水準を維持しているといえる。

■ スキルアップ支援

フジコウは、従業員のスキルアップを積極的に支援している。当社では、業務に有用な各種資格の取得を促進するため、受験費用や試験対策講習の費用をすべて会社が負担している。さらに、取得した資格の難易度に応じて資格手当を支給し、従業員の成長意欲を高めるインセンティブとしている。加えて、こうした資格取得支援は従業員に限らず、当社の事業を支える内装職人が取得する「内装仕上施工技能士」などの資格についても同様に適用しており、事業に関わる人材全体の技能向上を後押ししている。

■ パートナーシップ構築宣言

フジコウは、内閣府および中小企業庁を中心に実施・推進されている「パートナーシップ構築宣言」の取組に賛同している。これは、企業が取引先やサプライチェーン全体との「共存共栄」を目指し、適正で透明性のある取引を進める方針を自社として宣言し、価格交渉の実施や適切な価格転嫁・支払条件の改善・一方的な取引条件の変更防止・知的財産の適切な取扱いなど、取引適正化に向けた考え方を対外的に公表する仕組みである。宣言では、外注先の協力会社と共存共栄するための、具体的な重点項目を以下の通り定めている。

- ・ 若手入職者や未経験者が安心して技術を学べるよう OJT の充実やキャリアアップパスの明示を共同で進めます。
- ・ 協力会社と連携し、資格取得、技能研修などを通じて人材育成を進めていきます。
- ・ 適正な工期設定と早期の施工情報提供に努め、協力会社が人員や資材を確保できる環境を整えます。
- ・ 風通しの良い対等な協力体制を築きます。

また、宣言において、「新技術を積極的に導入して、現場の生産性を高めて、誰もが安心して長く働き続けられる、魅力ある建設業の未来を切り開きます。」とも謳っており建設業全体の魅力を高めていくと宣言をしている。

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- ・若手入職者や未経験者が安心して技術を学べるようOJTの充実やキャリアアップパスの明示を共同で進めます。
- ・協力会社と連携し、資格取得、技能研修などを通じて人材育成を進めていきます
- ・適正な工期設定と早期の施工情報提供に努め、協力会社が人員や資材を確保できる環境を整えます。
- ・風通しの良い対等な協力体制を築きます。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

- ・新技術を積極的に導入して現場の生産性を高めて、誰もが安心して長く働き続けられる、魅力ある建設業の未来を切り開きます。

2026年6月16日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

株式会社フジコウ _____ 代表取締役 藤崎圭介 _____
 企 業 名 役職・氏名（代表権を有する者）

(備考)

- ・本宣言は、(公財) 全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。

【出典：パートナーシップ構築宣言_公式サイト】

(2) 環境面での活動

■ 廃棄物の抑制・省資源の取り組み

フジコウは、バックオフィス業務の効率化を通じて、生産性向上と環境負荷低減の両立を図っている。具体的には、契約書・納品書・見積書・注文書など、現場ごとに発生する書類について電子データでのやり取りを原則とし、紙資料を極力発生させない体制の構築を進めている。こうしたデジタル化の取り組みにより、事務作業の迅速化・省力化が進み、当社全体の生産性向上にも大きく寄与している。

3. サステナビリティ目標の設定

本ローンの取り組みにあたり、以下の重要課題の達成に向けたサステナビリティ経営の目標・KPI を設定した。

(1) サステナビリティ目標の設定

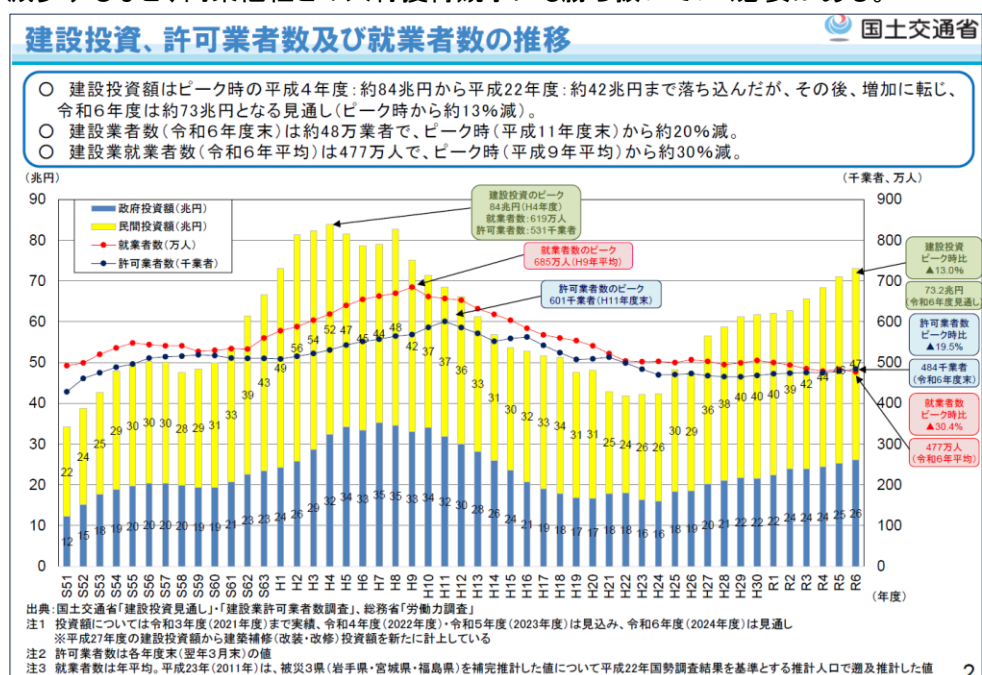
重 要 課 題	働きやすい建設業への進化
取 組 内 容	賃金・福利厚生・ワークライフバランスなどの一層の改善、業務効率化推進により、建設業の 3K(きつい・汚い・危険)イメージ払拭
設定した目標・KPI	2033 年までに計 7 名の増員を達成する(うち女性 2 名。職人含む。)
貢 献 す る S D G s	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりを

(2) サステナビリティ目標の有意義性

本ローンの組成にあたり、フジコウは、「働きやすい建設業への進化」という重要課題のもと、上記の目標・KPI を設定した。以下、当社が推進する目標・KPI の有意義性を見ていく。

① 賃金・福利厚生・ワークライフバランスなどの一層の改善、業務効率化推進により、建設業の 3Kイメージを払拭

当社は 2017 年設立であり、2027 年に 10 周年を迎える。設立から 10 年間は、売上を着実に積み上げることに注力した期間であり、堅実な経営基盤の構築を事業の最優先課題として取り組んできた。そして今後の 10 年については、次なる成長ステージの高みを指すため、組織の強化を目標としている。経営の安定化と拡大のためには、現場の施工管理や工程管理、計数管理をしっかりと担える人材の育成と確保が必要であるとの考えによるものである。建築業界は「きつい・汚い・危険」の 3K イメージが根強いいため新規入職や転職希望が集まりにくく、建設業就業者数は 477 万人とピーク時から約 30%減少するなど、同業他社との人材獲得競争にも勝ち抜いていく必要がある。



【出典：2025 年 9 月 国土交通省 最近の建設産業行政について】

そのため、当社は「働きやすい建築業」への環境整備を重点課題として掲げる。具体的には、賃金水準の引き上げや休日確保、各種福利厚生充実を一層推進し、従業員の健康と生活の質の向上に努める。

また、若年層や未経験者、中途採用者を積極的に受け入れていくことを検討している。加えて、女性も働きやすい環境を整え、男女比 7:3 となるような職場環境の整備を目標とし、女性の活躍推進および多様性尊重の企業文化の醸成に取り組んでいく予定である。そのために、現在の事務所についても働く環境の整備の一環として移転も検討している状況である。

当社は、その取組の効果を定量的に把握するため、具体的かつ測定可能な KPI を設定した。毎年 1～2 名の従業員を採用していくことを掲げ、2033 年までに計 7 名の増員を達成することである。現状当社の施工は協力会社への外注により職人は在籍していないが、本計画期間では職人を内製化することも視野に入れている。以上の各種取組によって働きやすい建設業への進化が進むものであり、本目標・KPI は有意義である。

株式会社北海道共創パートナーズ 会社概要

名 称	株式会社北海道共創パートナーズ
本社所在地	〒060-0042 札幌市中央区大通西 3 丁目 7 番地北洋大通センター13 階 代表 TEL : 011-596-7814
資 本 金	4,950 万円
株 主	株式会社北洋銀行
代 表 者	代表取締役社長 岩崎 俊一郎
事 業 内 容	①経営に関する問題点の調査・分析、改善案の企画・立案 ②企業戦略の立案、システムの構築および事業承継およびM & Aに関する支援 ③人材育成のための研修業務 ④有料職業紹介事業（許可番号 01 コ-300467） ⑤投資事業組合財産の運用及び管理 ⑥株式、社債又は持分その有価証券に対する投資業務 ⑦前各号に付帯関連するコンサルティング業務 ⑧前各号に付帯関連する一切の業務
沿 革	2015 年 8 月 株式会社日本人材機構設立 2017 年 9 月 株式会社日本人材機構と株式会社北洋銀行の共同出資により 株式会社北海道共創パートナーズ設立 コンサルティング事業とプロフェッショナル人材のシェアリ ング事業を開始 2018 年 10 月 有料職業紹介事業の許可を取得し、人材紹介事業に参入 2020 年 4 月 株式会社北洋銀行が株式会社日本人材機構の保有する株式を 取得し、100%子会社化 株式会社北洋銀行から M&A 事業を移管 2023 年 4 月 経営コンサルティング事業の中の補助金コンサルティングを 補助金事業部として事業部化 2026 年 4 月 サステナビリティ経営支援チームと補助金事業部を統合し、 ソーシャルインパクト事業部を発足

留意事項

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の SDGs 経営とサステナビリティ目標の有意義性に対する第三者意見を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

HKP は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本文書に関する一切の権利は HKP に帰属します。HKP の事前の許諾無く、本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて使用すること（複製、改変、翻案、頒布等を含みます）は禁止されています。

【独立性】

HKP は、北洋銀行グループに属しており、北洋銀行および北洋銀行グループ企業との間および北洋銀行グループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は北洋銀行とは独立して行われるものであり、北洋銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

【第三者性】

借入人と HKP との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係などの特別な利害関係はありません。